



滋賀県議会議員

奥村よしまさ

Okumura Yoshimasa Kensei Report

# 県政レポート

Vol.28

平成26年4月 発行



## 滋賀・草津の未来に責任と希望を持って、任期4年目をしっかり果たして参ります!

新年度が始まりました。皆さんの中には、人生の節目として新しい生活をスタートされた方もいらっしゃると思います。私は今年度、県会議員の任期4年間の最終年を迎えました。新生活をスタートされた方たちに負けずに、フレッシュな気持ちで滋賀・草津の未来に責任と希望を持って、しっかり役目を果たしていきたいと決意を新たにしております。

7月には滋賀県知事選挙が控えています。日本全体の課題でもあります。知事選挙のキーワードは「経済成長」だと考えています。経済が活性化し、滋賀県が元気になるために何が必要か、しっかり考えながら選挙戦に取り組んで参ります。

### 流域下水道溢水被害の検証と今後の取り組みについて

2月27日の定例議会にて一般質問を行いました。

#### 県の危機管理に不満です! もっとしっかりした対応を!

昨年(2014年)の台風18号により、県下最大の流域下水道浄化センターがある草津市や流域市町で流域下水道や公共下水道から汚水が溢れ出し、生活環境に大きな被害がでたのは、記憶に新しいところです。流域下水道の被害総額は約5億円ということですが、こうしたセンター周辺の浸水被害の原因をどう分析されているか伺います。

#### <琵琶湖環境部長の回答>

台風18号による大雨では、浄化センターやポンプ場が保有するポンプをすべて稼働させて流入する水を汲み上げましたが、追い付かず被害が発生いたしました。施設の運転において、最大限の努力を払ったところですが、平常時の6倍を超える大量の雨水が流れ込むことは想定を超えていました。平常時の数倍の人員で対応にあたりましたが、被害を防ぐことはできませんでした。人員面では精一杯対応をさせていただいたと考えています。

では「もっとこのような施設であれば、あるいは、あの時このように対応すれば、被害は少なくできたであろう」とする、反省と言いますか、今後の対応として考えるべき事項について伺います。

#### <琵琶湖環境部長の回答>

マンホールなどからの溢水被害や、下水道利用の自粛を要請する際、県と市町の間で、処理場やポンプ場の運転状況などについて、情報をうまく共有できず、情報共有システム構築の必要性を認識しています。また流入した大量の雨水による溢水を防ぐには、浄化センターの汲み上げポンプの能力増強は有効だと考えています。併せて、放流までの設備の強化も必要となります。費用面の検討を含め、市町との協議が必要だと考えています。

また下水道は、流域下水道と公共下水道の一連のシステムです。市町と協力し、不明水対策の検討会を来年度、立ち上げることにしています。

ここに、昭和48年10月8日付けの、覚書があります。これは、滋賀県知事と草津市長、そして当時、湖南中部流域下水道浄化センターの設置に反対されていた同盟会会長との三者で確認されたものです。琵琶湖環境部長、この覚書はご存じですね?

#### <琵琶湖環境部長の回答>

承知しています。現在も有効な覚書であると認識しておりまして、その趣旨を踏まえ、周辺地域の生活環境保全等の対応をしています。



覚書の要望には「公害など生活環境を悪化し関係住民に不安を与える恐れのない施設であること」という事項があります。これに対して県は、「全く不安の無いもので、運営に責任を持つ」との回答でした。しかし残念ながら、昨年の汚水が溢れる事故で地元は大きな不安を持たれました。当然、この不安を先ず払拭しなくてはなりません。そのための対応と状況を伺います。

#### <琵琶湖環境部長の回答>

地元の皆さんにご安心いただくため、湖南中部浄化センター運営協議会矢橋帰帆島部会において、被災の経過や、復旧方針等について丁寧に説明を行いました。災害発生時の県の対応について厳しいご意見を頂戴したところです。今後も、部会を通じて地元の皆さんとの連絡を密にすることで、地元の皆さんに安心していただけるよう、努力を続けてまいります。



1月に県がまとめた検証と今後の対策を拝読しました。浄化センターに関して、施設を増強することが効果的と言いつつ、国庫対象でないの相当の市町の負担が必要としていますが、だからどうするのか? 県、市町が協力して対策を協議するとありますが、こうした課題にこそ、例年県が国へ制度要望をしている時に、提案すべきではないのでしょうか? ポンプの充実が効果的なら、何としても対応するその気持ち、意気込みが大事です。知事の考えを伺います。

#### <知事の回答>

県と市町による下水道不明水対策検討会をこの4月に組織し、再発防止策を検討することとし、予算に経費を計上したところです。かなり根本的、構造的な問題はハードで、また利用者の皆さんのご協力というところではソフトで対応する必要があると思っております。流域下水道の仕組みそのものを理解いただくことで問題解決に当たる必要があると考えております。



マンホールから溢れ出た不明水による浸水被害の様子(草津市新浜町・工場敷地内)

不明水とは…

本来であれば、下水道では汚水と雨水が分けられているはずですが、実際には、雨水管や家庭の雨水が汚水管に入り込んで、下水処理場に流れこんでしまう問題が発生しています。この下水管に入り込んでくる雨水のことを不明水(雨天時浸入水)と呼んでいます。



滋賀県議会議員  
総務・企業常任委員会 委員長  
体育振興・健康づくり対策特別委員会 委員  
自民党滋賀支部連合会  
総務副会長

奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町962-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

活動日記毎日更新中! <http://www.genki-shiga.jp>

facebookもチェック! → 奥村芳正

携帯でも  
発信して  
います! →





●3月6日の予算特別委員会にて質問しました。

## 全国一の教育を目指した取り組みについて

滋賀の未来のためにも早急に取り組むべき課題です!



今こそ、滋賀の未来を託す子ども達の成長を願っての施策にしっかりと取り組み、子ども達には元気に、自分の将来に夢を描きつつ成長していった欲しいと思っています。学力向上に向けた県教育委員会の取り組みについて伺います。

＜教育長の回答＞

学び合いを通して、子ども自らの考えを深める授業や、理由や根拠を確かめる問いかけ、成就感や満足感を味わえる問題解決的な学習の充実、振り返りカードによる子どもの状況把握と授業改善に取り組むとしています。そのため平成26年度は、学習向上アプローチ事業や子どもの学び改善プロジェクトとして事業化を図ったところです。



市町教育委員会、学校、家庭教育を預かる保護者との協働で、子ども達を人間的に育てる独自の取り組みは考えられませんか。

＜教育長の回答＞

家庭では、保護者の愛情や信頼のもとで人として生きる基本的な学びを、学校では集団の中で力を出し切れるように工夫をし、地域では行事を通してルールやコミュニティの大切さを教えていただく、というように社会全体の豊かな人間関係の中で子どもたちに生き方を伝えていくことが、滋賀県らしい取り組みとなるようにしていきたいと考えております。



全国一の教育を目指すにあたって、滋賀の教育力をのばす取り組みの初年度の目標と決意を伺います。

＜教育長の回答＞

知識を詰めただけでなく自分で考え判断し、発信できる教育を推し進めなければなりません。そのためには、教員一人ひとりが人間的な魅力を持つよう不断的努力をしなくてはなりません。子どもたちの人間力、生きる力の育成を目標に学校、教員、市町教育委員会、県教育委員会が一致団結して取り組めるよう全力を尽くしてまいります。

## 犯罪の起きにくい社会づくりのための「地域の絆」再生事業について

安心して暮らせる社会づくりへの奮闘を期待しています!



犯罪が急増との情報が寄せられていますが、現在の状況について伺います。

＜警察本部長の回答＞

平成24年度から全国でも突出して増加に転じ、自転車盗、性犯罪等の身近な犯罪が急増しました。そこで県民の警戒心を高める呼びかけを実施しており、2月末時点で昨年より2割減少しております。



「地域の絆」とありますが、現状の分析を伺います。

＜警察本部長の回答＞

犯罪の減少を定着させるには、地域社会の連帯感や絆、人々の高い規範意識が取り戻されることが望まれます。本事業は平成23年より継続していますが、地域の防犯団体が2割増え、中・高生のヤングボランティアが飛躍的に増加しています。今後さらに「地域の絆」が強くなることを望んでおります。



平成26年度の犯罪抑止に向けた支援の具体について伺います。

＜警察本部長の回答＞

26年度予算において、防犯ボランティアへのパトロール用品の提供、非行防止教材の提供、ガイドブックの配布、情報交換会の開催などの経費、防犯対策のテレビ放映の経費を見積もっています。

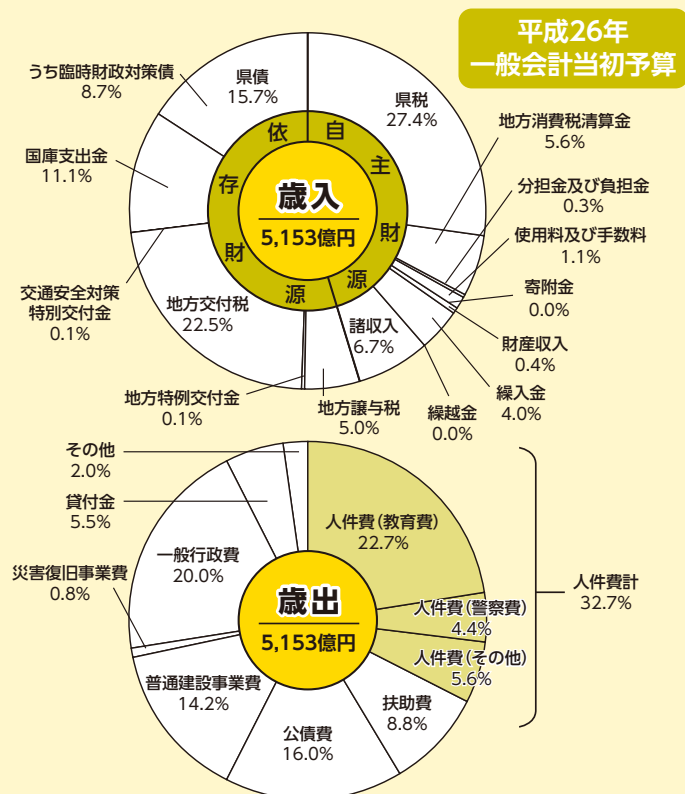
# 平成26年度滋賀県一般会計予算案が可決されました。

- 県税は、景気の回復傾向を反映し2年連続の増加。
- 地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税は4年ぶりに増加。また、一般財源総額は2年連続で前年度を上回る見込み。
- 財源不足等に対応する基金残高を確保。
- 臨時財政対策債を除く実質的な県債発行額は4年連続で増加するものの、実質的な県債残高は減少傾向。
- 公債費や社会保障関係経費などの裁量が少ない経費が増加。
- プライマリーバランスは当初より残比較で6年ぶりにプラス。
- 消費税および地方消費税の引き上げによる増収分を活用し、社会保障を充実。

### 予算規模

※企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

|      |         |                        |
|------|---------|------------------------|
| 一般会計 | 5,153億円 | (対前年度当初比 199億円増 +4.0%) |
| 特別会計 | 1,951億円 | (対前年度当初比 151億円減 ▲1.7%) |
| 企業会計 | 382億円   | (対前年度当初比 55億円増 +16.7%) |



## 滋賀県知事選挙日程決まる!!

●6月26日告示

●7月13日投開票

嘉田知事の任期満了に伴う滋賀県知事選挙が決定しました。選挙戦に向けて滋賀県の未来のために積極的で有意義な議論が交わされることを望んでいます。私も同志と一丸となって、熱い思いで選挙戦に取り組んで参ります。

県民の皆さんが滋賀の未来に関心を持ち、選挙戦が大いに盛り上がることを願っています。みなさん7月13日にはぜひ知事選に投票に行きましょう。  
**私も同志と共に“やり抜く”覚悟で頑張ります!**